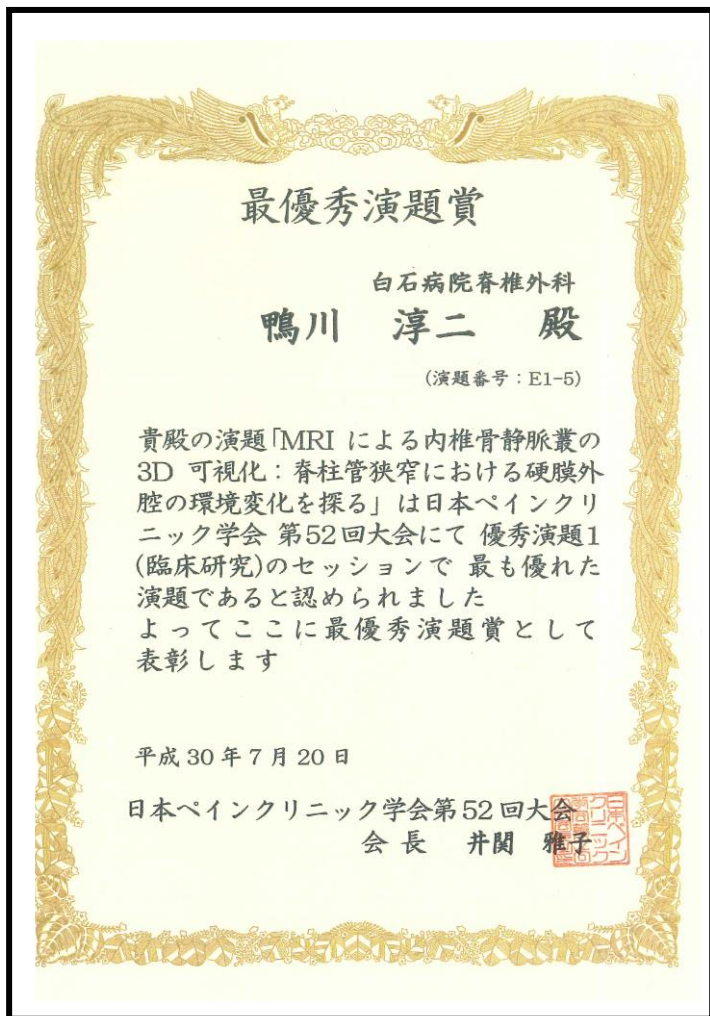


2018年7月19日～7月21日『日本ペインクリニック学会 第52回大会(品川・東京)』において、
鴨川淳二医師(白石病院、脊椎外科)が

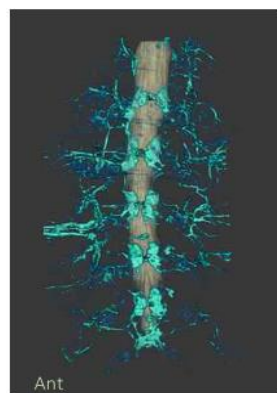
『最優秀演題賞』を受賞しました。



背骨の中(脊柱管内)の静脈を3D可視化し、痛みが見える画像を完成されました。

完成までに約8年を要した本研究は、世界初の試みです。手や足のしびれの原因として、静脈のうっ滞が関与していることを示唆しました。

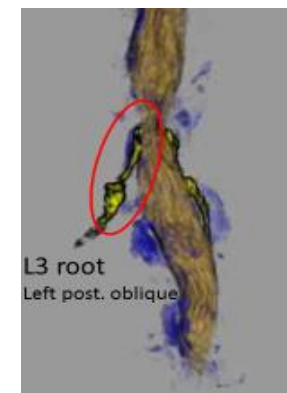
この度、日本ペインクリニック学会大52回大会にて高い評価を得られ、今後、診断や治療の新しい検査・サポートツールになることが期待されます。



硬膜管の前の静脈
(緑色)



頸椎後縦靭帯骨化症の静脈
(青色)



腰部神経根と静脈
(青色)